HIT2025　エントリーシート　※締切 10月27日(月)

**応募者の概要**

**応募される方の情報を記述ください。**

1. **グループ名（学校名・法人名）**
   1. グループ名　　　　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]
   2. 学校／法人名　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

**２．応募テーマのカテゴリー**

　　応募作品が該当するカテゴリーにチェックを入れてください（複数チェック可）。

□A　IT・ICT利活用で地域や世の中を進化・課題解決できる内容

□B　ICTが利用されている「産業・技術・商品・サービス」の「アイデア・ビジネスプラン・ビジネスモデル」

□C　AI・ロボットなどICTを利用した農林水産、地域振興(震災復興)に関わるもの

□D　位置情報（G空間情報）を利用した地域の課題解決、新商品、新サービスのアイデア

□E　ICTを利用した働き方改革、業務の効率化のアイデア

□F　既存の自社商品やサービス（ただし、上記に該当すること）

□G　その他、ICTを利用した内容

1. **発表代表者**
   1. 氏　名（ふりがな）： ( )
   2. 性　別：　　　□男　　　□女　　　　該当する方にチェックを入れてください
   3. 住　所：
   4. 電　話：
   5. E-mail：
   6. 緊急のご連絡先　（④と同じであれば省略）
   7. チームメイトの氏名（ふりがな）：ステージで発表する人(おおよそ2名まで：①、⑦)
      * ( )
   8. **下の「発表における注意点」を確認し、把握できたら□にチェックを入れてください。**

□把握しました

**発表における注意点**

1. 当日使う機材は、Windowsパソコンで**PowerPoint**を使います。

　その環境で表示できることを確認した上でデータをご提出願います。

②読みやすいフォントで**25Point以上**の文字を使ってください。

③資料中の写真等は、**ある程度の解像度**がないと明瞭に投影されません。

④発表当日の模様は写真撮影・録画し、チーム名等とともに冊子、Ｗｅｂサイト

等で公開、並びにメディアにて表示されることがあることを了解願います。

参考：[https://www.telesa.or.jp/branch/hokuriku/archive/hit2024/](https://www.telesa.or.jp/branch/hokuriku/archive/hit2023/)

QR

⑤学生の場合、発表内容によっては指導教官に確認し了解を得てください。

****

**ビジネスモデル発想シート**

**発想した商品・サービスについてお書きください。別途イメージ図等があれば添付してください。**

**1.　アイディア発想のキッカケは？**

**2. 目標・目的はどこにありますか？（だれの為に何ができますか？またはどんな課題を解決できますか？）**

**3. どのような商品・サービスですか？**

**4. 新規性、実現性、継続性について具体的にお書きください。**

**（１）新規性（類似の商品やサービスがあればそれらとはどこが違うのか？特徴は？など）**

**（２）実現性（どのようにして実現するのか？）**

**（３）継続性（どのようにして継続的な成長を目指すのか？）**

**※発表用資料（PowerPointデータ）は、**

**10月27日（月）までに事務局へメールでご提出願います。**

**事務局連絡先**

テレコムサービス協会北陸支部

（ケーブルテレビ富山内）

担当　宮田

email　[9.telsys@telesa.or.jp](mailto:9.telsys@telesa.or.jp)

TEL　076-444-5952

**※提出頂いたエントリーシートと資料をもとに一次審査を行います。**

**審査（選考）を通過したチームは、発表会に向けて１~３回ほどの**

**ブラッシュアップを行います。**

**※ご不明な点はお気軽に事務局へお問合せください。**

**発表および資料作成における留意点**

発表資料をもとに発表する際、以下の点に留意してください。本年度の発表は、会場での発表となります。

**１．プレゼンテーションの主役は「あなた」です。**

プロジェクターで投影している資料の説明にならないように注意してください。

審査員（カメラ）の方を見ながら、「想い」を伝えるように説明しましょう。

（プロジェクタで投影するスクリーンの前に立って発表をします。スクリーンの方を振り向かずに発表できるように練習

が必要です）

プロジェクターで投影されている資料（審査員の見ている資料）は、「想い」の補助資料だという程度に考えてプレゼンテーションを行ってください。

**２．資料作成上の留意点**

* 1. 文字は大きなフォントで文字数は少なく。

文章よりも箇条書きの方が効果的です。　聞き手にとっては、文章よりも“短い箇条書き“の方が印象に残ります。

* 1. 図や写真などのイメージを効果的に利用しましょう。

持ち時間は５分以内です。　審査員が直感的にイメージできる、あるいは印象に残るような工夫を。

* 1. ICTをどう利用するのか、という点を明確に。

・課題は何か？

・ICTを利活用した解決するための手段（プレゼンテーションの主題）

・ザックリとした概算でも構いません。　初期費用、運用資金、収益といったお金の流れも意識しましょう

・どう普及していくのか、あるいは、どう発展させるのか、という先々のことも意識しましょう

※ICTをどう利用すればいいのかわからない場合は、事務局に相談してみてください。

* 1. プロジェクターで投影する資料の流れ

・表紙（発表タイトル、発表チーム名、学校／法人名、発表する全員の名前を記載）

・課題、解決策（アイデア,特長）、ビジネスモデル（お金の流れ）、市場性、具体的なアクションプラン、収支予測　を７~１０ページ程度にまとめます（**発表時間/動画は5分厳守**）。

**３．その他**

・チームで発表する場合は、息が合うように入念な練習を重ねてください。

・顔の表情も大切です。

　緊張するのが普通です。　しかし、発表を楽しもう、というくらいの気持ちも大切にしましょう。